

Contents

■特集「地域づくり」	2～4 P
■1市6町合併に向けて	5 P
■公共交通（路線バスの見直し）	6・7 P
■0次予防	8 P
■投票区の見直し、振り込め詐欺	9 P
■パプコメ(緑の基本計画、ゴールドプラン)	10 P
■職員募集、最低賃金の改正、入札関係	11 P
■まちの話題	12・13 P
■広報（アンケートの結果）	14 P
■住基カード無料交付キャンペーン、ほうこう会	15 P
■税(確定申告説明会、住宅ローン減税)	16 P
■人権ってなあに	17 P
■国保、しょうがい者福祉、国民年金	18 P
■お元気ですか(小児救急医療)	19 P
■図書館(新サービススタート)	20 P
■パソコン講習、スポーツ関係	21 P
■インフォメーション	22・23 P
■裏表紙 盆梅展	24 P

今月の表紙

年末のまちなかで出会った、2009年に年男・年女となる市民の皆さんにご協力いただき、作成した新年のあいさつ。

書いていただいたのは、一人一文字ですが、その一文字には「今年は昨年以上にいい年になってほしい」という思いが込められています。

社会経済は、まだまだ厳しい状況が続くとのことですが、今年の干支のように、市民の皆さんとともに、一步一步力強く前に進んでいきたいと思いますので、今年も一年、よろしく願いいたします。

特集 地域づくり

みんなでつくる心地よい場所

市内では、地域が抱える課題をみんなで話し合って解決したり、地域の将来像を考え、その実現に向けて活動しながら、自分たちの地域を自分たちでよりよくしていこうという取組、「地域づくり」が着実に進んでいます。

その取組を進めるうえでのポイントとなるのが、平成20年12月末現在、市内10地区で設立されている「地域づくり協議会」。

地域づくり協議会は地域の皆さんが自発的に参画し、地域を盛り上げていく重要なところ です。皆さんも地域の中でできることを見つけ、ぜひとも協議会の活動にご参加ください。

キーワードは「共助」

地域づくりを進める上で大切なことは、「自助・共助・公助」の役割を認識し、日ごろからつながりを大切にした中で、みんなで支えあう仕組みが機能するよう、コミュニティをつくっておくことです。自分でできることは、それぞれの責任で自分自身が行う「自助」、自分だけでは

解決や実施が難しいことで、周囲や地域が協力して行う「共助」、地域でもできないことや、地域などで行うことが効率的でないことを公が行う「公助」。

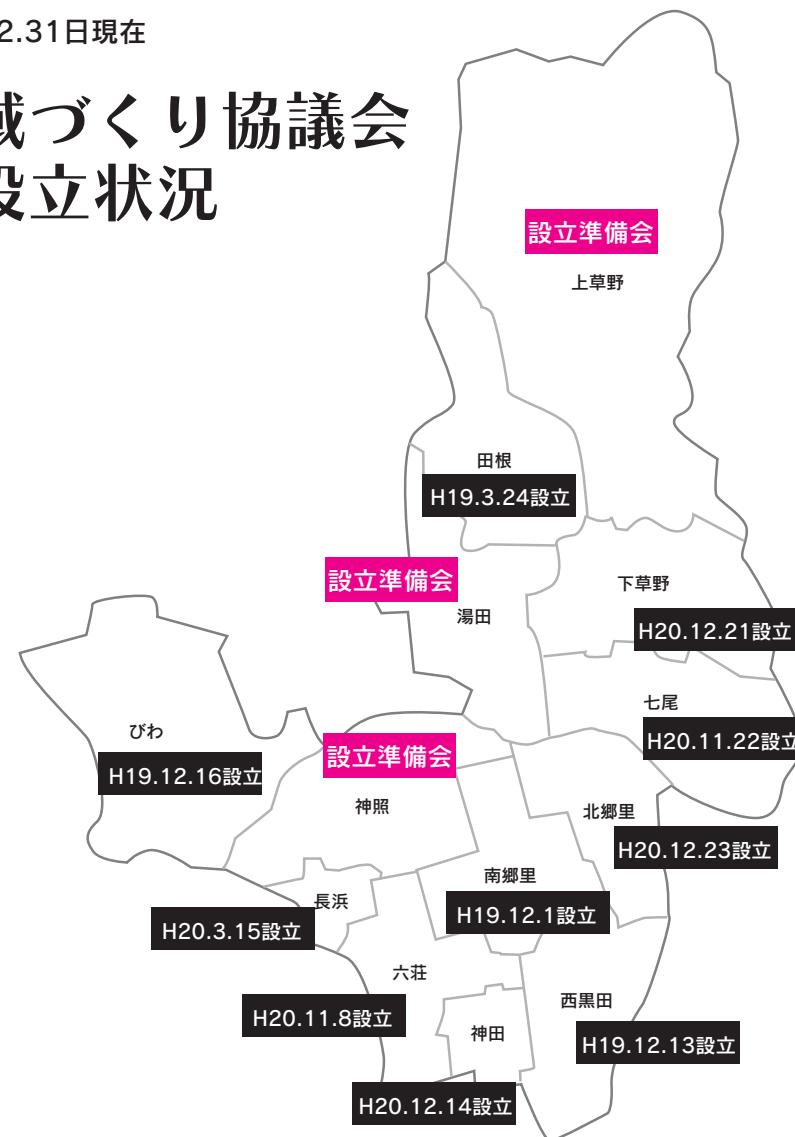
地域づくりは、「共助」の部分を指しており、その中心となっていくのが、現在市内各地域で設立されている「地域づくり協議会」です。

地域づくり協議会とは

自治会、PTA、老人クラブ連合会、子ども会、市民活動団体など、幅広い層からの参加を得て構成される組織で、運営は自治会長や各種団体と協働・連携して行われます。活動の拠点は、公民館等におかれ、「地域づくり計画」（計画期間は概ね5年間とし、5年ごとの更新に加え、

H20.12.31日現在

地域づくり協議会の設立状況



必要に応じて見直しを行います。」をまとめたり、その計画にそって、地域の人の活動を行っていく場所です。具体的活動は、地域によって異なりますが、子育て支援や高齢者介護、防犯・防災や環境問題、芸術・文化・スポーツなど地域の事情に応じた幅広い活動が見受けられます。

今後の予定は

地域づくりを進めていくためには、「種まき、発芽期間」「成果、開花期間」「結実期間」の3つの時期があり、最終的には、「地域自治組織」を創り、地域内分権をめざしています。詳しいスケジュールは次のページで各地域の取組とともに紹介しています。

ともに心地よい場所づくりを

現在、多くの地域では、自分たちの住んでいる地域の課題を考え、それらを解決し、特性を活かした様々な活動を実施していくための計画づくりが始まっています。

地域のことを最も理解しているのは、地域住民の皆さんです。そのため、計画づくりには、地域住民の皆さんの参加が欠かせません。地域づくり協議会は、地域の皆さんが自主的に参画し、みんなで心地よい場所をつくっていくところなので、多くの皆さんが参加され、地域が盛り上がりつつあることを期待しています。

お問合せは、市民協働課 ☎ 8711へ。